

発行：社会福祉法人
根室市社会福祉協議会
(生活支援体制整備事業)

〒087-0008

根室市有磯町2-6

☎ 24-0381

FAX 24-0551

令和4年度 「支え合いを広げる地域づくり研修会」では 盲導犬について学びました



PR犬のツキちゃん

角田修一次長



合い言葉は
少しだけ
おせっかい



11月8日(火)、根室市総合文化会館の多目的ホールを会場に、令和4年度「支え合いを広げる地域づくり研修会」が開催されました。この研修会は、住み慣れた地域で、安心して暮らし続けられる地域づくりを広げることを目的として、根室市社協が毎年開催しており、さまざまな分野の講師を招いて参加者の皆さまとともに支え合う地域づくりについて学んでいます。

当日は、公益財団法人北海道盲導犬協会の角田修一 総務・普及啓発担当次長と、盲導犬のPR犬・ツキちゃん(ラブラドル・レトリバー、3歳メス)が来根され、『目の不自由な人の大切なパートナー 盲導犬の仕事を知ろう』をテーマに講話と誘導体験を実施しました。

角田次長は講話の冒頭で「身体障害者補助犬法」について触れ、盲導犬は3種類の補助犬(盲導犬・介助犬・聴導犬)の1つであること、補助犬はユーザーの体のサポートに加え社会とのつながりをサポートしてくれる大切なパートナーであると説明。

「法律では不特定多数の方が利用する場所は、補助犬の受け入れを拒んではならないので、他のお客様にも分かりやすいよう『補助犬同伴ステッカー』を掲示したりして法律の存在と受け入れ義務を伝え、理解を求めて欲しい」と呼びかけました。続いて、盲導犬の仕事や、目の不自由な人の誘導について

の説明とDVD視聴を行った後、参加者全員でアイマスクと白杖による「誘導体験」を実施。視聴覚障がい者が道をまっすぐ歩くことの難しさを実感していました。



イスまでまっすぐ歩く
体験をする参加者



ツキちゃん